

ハウスを開放して健苗に仕上げましょう！ 適期移植でスタートダッシュ！

やまがた温暖化対応米づくり日本一運動本部

◎今後の気象

5月12日発表の週間天気予報では、5月14日から16日の平均気温が平年よりかなり高まる見込みです。東北地方の1か月予報（5月10日～6月9日）では、平均気温は平年より高く、降水量は平年並みか多いと見込まれます。

2025年05月12日11時 山形地方气象台 発表								
日付	今日 12日(月)	明日 13日(火)	明後日 14日(水)	15日(木)	16日(金)	17日(土)	18日(日)	19日(月)
山形県	曇 	晴 	晴時々曇 	曇時々晴 	曇 	曇一時雨 	曇 	曇 
山形 気温 (℃)	最高	17	25	28 (25～30)	27 (24～29)	27 (25～29)	23 (21～28)	26 (24～28)
	最低	-	12	11 (9～12)	13 (11～15)	15 (13～17)	16 (14～18)	17 (15～19)

◎管理のポイント

今年は4月に雨が多く圃場が湿った状態が続いたため、乾土効果は低いと見込まれます。初期生育量を確保するためには、例年以上に健苗の適期移植が重要です。

(1) 移植の1週間前から育苗ハウスは開放！

育苗ハウスは昼夜とも開放し、外気に慣らして丈夫な苗に仕上げます。特に、今後は高温となる見込みです。徒長苗とならないように温度管理を徹底しましょう。

(2) 移植は天気のいい日に！70株/坪、植込本数4～5本で！

移植は、天気予報を確認し、風が弱く温暖な日を選んで適期に行いましょう。低温や強風の日の移植は、植傷みや活着の遅れにつながり、その後の生育にも影響するので避けましょう。

栽植密度は生育量に大きく影響します。収量・品質が安定的に高まる最適な栽植密度は、70株/坪（㎡当たり21～23株）です。植込本数は株当たり4～5本として㎡当たり100本程度となるように移植しましょう。

トラクターに付いた泥は、公道に出る前に落としましょう

農作業事故と熱中症に十分注意してください！

休憩をまめにとり、水分補給を行いながら、無理のない作業を！



農林水産省